

14倍要求アンケートは全職員の声を集めよう! アンケート結果は来春闘の要求ベース!!

国公労連では、来春闘での賃上げ要求額を初めとした一四春闘要求を職場の全ての労働者から集約することを目標に一四春闘要求アンケートと非正規労働者要求アンケートを実施することとしています。本要求アンケートは、組織拡大運動とも連動させ未加入者との対話に活用しコミュニケーションを図ることも目的の一つとしています。

具体的には組合員皆さんの要求アンケートは国公労新間一〇月一〇日付を活用し、取り組むこととしております。また、未加入者分(ピンク)と期間業務(委託)職員から集約を目指す、非正規要求アンケート(ブルー)の用紙を準備し配布しておりますので各分会での取り組みに活用をお願いします。

2014年春闘にむけて、国公職場で働く労働者の賃金をはじめとする労働条件等に関する要求と、職場での不安や不満を総ざらいし、一人ひとりの要求をふまえた運動を展開する観点から、全職員を対象とする「国公労連2014年要求組織アンケート」を実施し、また期間業務委託(含む)職員を対象に「非正規で働く仲間」の要求アンケートにとりくみ、賃金底上げをはじめとした、労働条件改善等のとりに活用していくこととし、本調査で得られた結果から、一二月月上旬に国公労連が提案される、春闘期統一要求案の重要な資料となる。

組合未加入者へとりくみの訴えを! 組合未加入者に対しては、アンケートの協力依頼をし、組織拡大の観点から、賃金改善の運動への参加を訴えながら、公務員賃金の質下げが更に狙われている等の情勢を話し合う良い機会として積極的に声をかけを行っていきましょう。

国公労連2014年要求組織アンケート みんなの声で要求をつくらう

本アンケートは、国公労働者の要求と意見を一体的に把握し、2014年春闘期に向けた要求整理や今後の組合運動に活用することを目的に実施するものです。組合員の皆さんの積極的なご協力をお願いします。

1. 多岐多岐の力が求められている 現在、私たちの賃金は、「賃下げ法」により平均7.8%の「減額」が行われています。政府は、時間外労働の「賃下げ法」に代わって、来年4月以降の給与改定への影響を緩和し、「減額」措置の延長の検討を打ち出しています。

2. 国政の動きで要求の前進をかせがろう 要求の前進には、なによりも私たち一人ひとりの要求実現に基づき主体的なとりくみが重要です。その出発点として、すべての組合員が、要求を出し、話し合いながら要求を作り、組織もつてものにすることが大切です。

3. 要求アンケートのとりにくみにあたっては アンケートの記入にあたっては、公務員労働者をめぐる状況や要求の到達点などについて、組織を築く職場環境を把握してとりくみましょう。また、職場の未加入者にも積極的に声をかけ、組合活動の意義や役割を知ってもらいましょう。

4. 記入方法、各問の該当する回答番号に○をつけ、その番号をアンケート回答票の「回答欄」に記入してください。 ① 「自主申告」は、組合に対する希望、期待など自由に書くことができます。 アンケート記入に取組む時期、集約方法などについては、単組からの指示が当たってください。

基本項目 回答票

F1 性別 ① 男 ② 女 F2 年齢 ① 29歳以下 ② 30~39歳 ③ 40~49歳 ④ 50歳以上 F3 勤務先 ① 本府省 ② 官庁機関 ③ 府県庁 ④ 独立行政法人 ⑤ 独立行政法人 ⑥ 独立行政法人 F4 世帯の収入構成 ① 1人(独身) ② 1人(扶養者あり) ③ 共働き(双方ともフルタイム) F5 組合加入の有無 ① 加入している ② 加入していない

非正規で働く仲間の要求アンケート 基本項目 ① 性別 ② 性別 ③ 年齢 ④ 年齢 ⑤ 世帯の収入構成 ⑥ 世帯の収入構成

質問項目 Q1 あなたの生活実態は、次のうちどれに該当しますか。 Q2 あなたは2014年春闘で、「賃下げ法」に上げを要求しますか。 Q3 最近の職場状況について、あなたが気になる項目はどれですか。 Q4 あなたは、春闘期でどのくらい賃上げを要求したいですか。 Q5 今の仕事や職場について、どのくらい不満を感じることを「十分」満たすことができますか。

Q6 国民本位の行政・司法をすすめるにあたって、あなたは何が重要かと思うか「2つ」選んでください。 Q7 人事院勧告制度の枠を超えた「給与特別法」による賃上げが実現しています。今後、賃金などの労働条件の改善は、どのようにしていくべきかと思いませんか。 Q8 政府が進めている「道州制・地方分権改革」では、国の出先機関の原則廃止が打ち出されていますが、あなたの意見は次のものを「2つ」選んでください。

自由意見 あなたの意見などをお書きください。 ご協力ありがとうございました。